

3 読書活動を支え、推進していくための区立図書館における取組

(1) 荒川区子ども読書活動推進計画(第四次)の策定について

ア 計画の背景

荒川区では、平成 19 年 3 月に策定した荒川区基本構想において、区の目指すべき将来像を「幸福実感都市あらかわ」とし、物質的な豊かさや経済的効率だけを重視するのではなく、心の豊かさや人と人とのつながりを大切にしながら、区民一人ひとりが真に幸福を実感できるまちづくりを進めています。加えて、区の将来像を支える六つの都市像を定め、「幸福実感都市あらかわ」の実現に向けて、区のあらゆるセクションが一丸となり、様々な施策を実施しています。

その中の一つである子育て教育都市は、子育て環境が充実し、子育て世代が働きやすく、安心して子どもを産み、育てることができるまちです。また、心豊かにたくましく学び、生きる子どもを地域社会全体で育むとともに、生涯にわたって学ぶことができるまちです。荒川区は、子育て教育都市の実現に向け、「子ども読書推進活動を一層推進し、ひろば館・ふれあい館等との連携により子どもの身近な場所におけるサービスや中高生向けのサービスを提供していく」と掲げています。

イ 計画の目的

荒川区で育つすべての子どもたちが、本と出会う多くの機会を持ち、読書の楽しさを味わい、本の内容を深く理解することを通じて、豊かにたくましく「生きる力」を自ら育むことができるよう、地域一体となって子どもの読書活動を支え、さらに推進します。

また、このような地域社会を実現させていくためには、子どもだけでなく大人も率先して読書活動を推進していく必要があります。

荒川区は、『読書を愛するまち・あらかわ』宣言の趣旨を踏まえ、読書を心から愛し、読書の素晴らしさを未来社会の創造者であり守護者でもある子ども達に伝え続けていくとともに、子どもから高齢者まで、誰もが読書に親しみ、学びながら心豊かに暮らすことのできるまちづくりを進めることにより、区民一人ひとりが幸せを実感できる「幸福実感都市あらかわ」を実現します。

ウ 計画の基本目標

「幸福実感都市あらかわ」を実現するため、「地域一体となって子どもの成長を促す読書活動の推進～「読書を愛するまち・あらかわ」の更なる推進～」を第四次計画における基本目標とします。

また、この基本目標に沿って、読書活動の意義を踏まえ、主体的かつ質の高い読書活動の実現に向けた取組を展開します。

〔読書活動の意義〕

- ◇広い世界を知り、自分自身の考えを確かめたり高めたりする体験により、考える習慣、豊かな感性や情操、思いやりの心などを身に付けることができる。
- ◇激変する社会に主体的に対応し自己実現を図っていく上で、自ら課題を見出し、考え、判断し、表現することができる資質や能力などの「生きる力」を育む。
- ◇子どもたちの人生を豊かにし、自分の将来に夢を持つことができる。

〔主体的かつ質の高い読書活動とは〕

- ◇成長段階や状況に応じ、様々な分野の本に親しんでいる。
- ◇読書を義務的に捉えるのではなく、楽しみ、喜びとしている。
- ◇「楽しみを広げる」「知識を得る」「調べる」など、目的を持った読書を行うことができる。
- ◇本から得た情報や事柄を自分の中で消化し、考えを深め、学ぶことができる。
- ◇読書によって得られたことや思ったことを、自分の言葉で相手に伝えることができる。

(2) 未就学児等の家庭や身近な施設における読書活動の推進

「子どもたちが本と出会い、喜びを感じることができる、身近で多様な機会の提供を促進する」ことを施策の柱として掲げ、子どもたちが自分に合った本に出会い、読書する喜びを感じ、読書する意欲を高めていくことができるよう、家庭や地域の身近な施設などで、子どもたちが自ら本に触れ、読書に親しむことができる機会を豊富に提供します。

ア 出産を迎える方に向けた読書活動の啓発

区立図書館、ブックスタート、おはなし会などの案内や、出産を迎える方及び乳幼児向けのおすすめ本を掲載したパンフレット「てくてくよむよむ」を作成し配布します。

イ 出産を迎える方のための読み聞かせ講習会の開催

出産を迎える方とその家族が、出産後、乳児への読み聞かせをスムーズに行えるよう、子どもに対する読み聞かせのや、ブックリストの紹介を行います。

○令和5年度 出産を迎える方のための読み聞かせ講習会の開催状況

開催日	令和5年11月5日
会場	ゆいの森あらかわ
受講者数	6名

ウ 0歳から3歳までの子どもたちのおはなし会の開催

乳児と絵本との出会いの機会を提供するとともに、保護者に対しても読み聞かせの手法等をわかりやすく紹介します。

○令和5年度 0～3歳のおはなし会実績

		ゆいの森	南千住	尾久	町屋	日暮里	合計
実施回数（回）		29	23	12	12	12	88
参加者数（人）		804	313	173	44	404	1,738
内訳	子ども	400	155	88	23	203	869
	大人	404	158	85	21	201	869

エ 乳児健診等におけるブックスタートの支援

4ヶ月健診の保護者を対象に、図書館やおはなし会、読み聞かせの手法等を案内することにより、絵本と読み聞かせの楽しさを伝えます。

○令和5年度ブックスタート実績 実施回数：24回 参加組数：467組

オ ブックリスト「あかちゃんといっしょ」の作成・配布

作成したリーフレットを貸出カウンター等で配布し、0～2歳の乳幼児を持つ保護者に、子どもの成長に関わる本の役割、楽しさをお知らせし、絵本に親しむ機会を提供します。

カ おはなし会の開催

職員やボランティアが「おはなし会」を実施し、たくさん子どもたちが絵本や物語に親しめる機会を提供し、読書の喜びを伝えています。また、保護者に対しても読み聞かせや親子読書の楽しみ等をわかりやすく紹介しています。

○令和 5 年度その他のおはなし会実績

	ゆいの森	南千住	尾久	町屋	日暮里	合計
実施回数（回）	59	63	38	54	65	279
参加者数（人）	797	499	305	208	935	2,744
内 子供	419	306	185	157	605	1,672
訳 大人	378	193	120	51	330	1,072

キ ブックリスト「えほんのじかん」の作成・配布

幼児及びその保護者に、本への興味関心を喚起するため、評価の定着した絵本を中心に紹介したリーフレットを作成し、カウンターなどで配布します。

ク 未就学児の保護者等に対する読み聞かせ手法の習得支援

ブックスタートやおはなし会などを活用し、図書館職員が保護者等に読みきかせのノウハウを提供することにより、家庭における読み聞かせ親子読書の促進を図ります。

ケ 「子ども読書の日」啓発キャンペーンの実施

毎年 4 月 23 日が「子ども読書の日」であることにちなみ、子どもの読書活動の意義を啓発するキャンペーン事業を全館で実施します。

○令和 5 年度「子ども読書の日」啓発キャンペーン実績

実施施設	内容	参加者数
ゆいの森あらかわ	絵本作家いとうひろしさんとあそぼう！	43 名
南千住図書館	読み聞かせワークショップ「もぐらのいえをつくろう！」	33 名
尾久図書館	工作会「紙でつくろう わたしのパン」（2 回実施）	36 名
町屋図書館	「古代エジプト文字でかざるたからばこ」	13 名
日暮里図書館	「たべものしりとりであそぼう」	16 名

コ 映画会の開催

子どもが図書館に行くきっかけとし、読書への興味関心を高めるため、昔から愛されている絵本や人気の物語の映画を上映します。

○令和 5 年度映画会実績

	ゆいの森	南千住	尾久	町屋	日暮里	合計
実施回数（回）	1	4	2	0	3	10
参加者数（人）	42	35	83	0	39	199
内 子供	22	23	46	0	26	117
訳 大人	20	12	37	0	13	82

サ 保育園・幼稚園・ふれあい館等とのサービスの連携

○団体貸出の実施

区内の保育園、幼稚園、ひろば館、ふれあい館などに、1 か月間 100 冊以内で団体貸出を行っています。（令和 5 年度貸出冊数：15,907 冊）

○連携した取り組み

図書館と保育園、幼稚園の連携を進め、子どもたちの読書環境のさらなる充実を図ります。

【連携例】

- ・図書館職員による訪問おはなし会、園児来館時における臨時おはなし会の開催
- ・団体貸出の際に保育士、幼稚園教諭等へのおすすめ絵本や新規受入資料を紹介

(3) 学校図書館を中心とした、小・中学校に対する読書活動の推進

「小・中学生の主体的かつ意欲的な学習活動や読書活動を支援するため、学校図書館の魅力をさらに高める」ことを施策の柱として掲げ、学校が子どもたちが多くの時間を過ごす場所であり、読書習慣を形成していく上で大きな役割を担っていることに鑑み、学校図書館との連携を推進します。

ア 学校図書館と区立図書館との相互連絡会の開催

子ども読書活動推進計画の実現に向けて、その中心となる区立図書館の職員と学校図書館の職員との間で情報交換等を行います。令和5年度は、地区別学校司書連絡会において学校司書と図書館職員の情報交換を年間3回（合計3回）実施しました。

イ 団体貸出しサービスの提供

区立小・中学校の各クラスに、1か月50冊程度、団体貸出を行っています。

（令和5年度貸出冊数 小学校：18,914冊 中学校：2,286冊）

ウ 親子で調べる学習チャレンジ講座

図書資料やパソコンを使って行う「調べる学習」について、そのやり方を理解してもらえるよう、図書館の資料等を活用した講座を学校図書館支援室と共同で開催します。

エ 特別支援学級と区立図書館との連携

イベントの実施や特別支援学級の社会科見学の受け入れなどを行います。社会科見学の際には、DAISY 図書を紹介し利用・活用を促しています。

オ 図書館職員による児童向け図書館利用案内の実施

新小学一年生を対象に図書館職員が学校を訪問し、図書館の利用方法等を分かりやすく紹介した冊子を配布するなど、図書館の紹介を行います。

カ 図書館職員による「ブックトーク」事業の実施

図書館職員が各学校に赴き、子どもたちに読書の楽しさを知ってもらえるよう、テーマに沿って本を紹介するほか、図書館のPRなどを行います。

○令和5年度 ブックトーク実績

実施館	実施校	学年	テーマ
ゆいの森 あらかわ	第九峡田小学校	1年生	図書館にはいろんな本があるよ
	峡田小学校	1年生	図書館にはいろんな本があるよ
	峡田小学校	ひまわり学級	図書館にはいろんな本があるよ
	第三峡田小学校	4年生	ごみ・リサイクル
	第三峡田小学校	5年生	祭り
	第三峡田小学校	6年生	戦国時代
	瑞光小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
	第六瑞光小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
	峡田小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
	第二峡田小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
	第三峡田小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
	第九峡田小学校	1年生	図書館案内・読み聞かせ等
南千住図書館	南千住第二中学校	1年生	ブックトーク読書感想文におすすめな本
	第二瑞光小学校	1年生	利用案内・ブックトーク・ミニおはなし会
	第三瑞光小学校	1年生	利用案内・ブックトーク・ミニおはなし会
	汐入小学校	1年生	利用案内・ブックトーク・ミニおはなし会
	汐入東小学校	1年生	利用案内・ブックトーク・ミニおはなし会
尾久図書館	尾久宮前小学校	1年生	図書館紹介・利用案内・ブックトーク
	尾久小学校	1年生	図書館紹介・利用案内・ブックトーク
	尾久西小学校	1～2年生	図書館紹介・利用案内・ブックトーク
	尾久六小学校	1年生	図書館紹介・利用案内・ブックトーク
町屋図書館	大門小学校	1年生	図書館紹介・ブックトーク・素話
	第四峡田小学校	1年生	図書館紹介・ブックトーク・素話
	第五峡田小学校	1年生	図書館紹介・ブックトーク・素話
	第七峡田小学校	1年生	図書館紹介・ブックトーク・素話
	赤土小学校	1年生	図書館紹介・ブックトーク・素話
日暮里図書館	第一日暮里小学校	1～4年生	図書館にあるいろいろな本の紹介
	第二日暮里小学校	1年生	図書館にあるいろいろな本の紹介
	第三日暮里小学校	1年生	図書館にあるいろいろな本の紹介
	第六日暮里小学校	1年生	図書館にあるいろいろな本の紹介
	ひぐらし小学校	1年生	図書館にあるいろいろな本の紹介

(4) 区立図書館における読書活動の推進

「子どもに対する質の高い読書活動の支援と、地域に根差した情報発信を強化し、区立図書館をさらに充実する」ことを施策の柱として掲げ、より多くの方が区立図書館を利用し、たくさんの本や情報と出会えるような環境整備をさらに推進します。

ア 子ども向けの図書資料の整備

子どもたちの興味や関心、好奇心を満たせるよう、その成長段階に適した本を充実させる。また、子どもたちが読みたい本を自分で選ぶことができるよう、書架高を低く抑えるとともに、配架方法に工夫を凝らします。

○東京荒川ロータリークラブ創立 40 周年記念寄贈絵本コーナー

東京荒川ロータリークラブは、1969 年 7 月 8 日に創立され、同年 8 月 29 日に「国際ロータリー」に加盟した団体です。荒川区ホテルを育てる会の支援事業、社会を明るくする運動などをはじめ、荒川区内で様々な奉仕活動を展開しています。

平成 20 年度に創立 40 周年記念事業として、第一回柳田邦男絵本大賞にご賛同をいただくとともに、南千住図書館 2 階児童フロアに、「東京荒川ロータリークラブ寄贈絵本コーナー」として絵本架 2 連と絵本 651 冊をご寄贈いただきました。その後も、平成 29 年度まで 10 年間毎年絵本をご寄贈いただきました。



東京荒川ロータリークラブ寄贈絵本コーナー

イ 中学生・高校生向けの蔵書の整備

中学生及び高校生を対象としたアンケートなどを参考にして、10 代の利用者が読書に興味を持てるような蔵書を充実させます。

ウ おすすめ本紹介パンフレットの作成・配布

読書離れの傾向が顕著な中学生及び高校生に本の楽しさを知ってもらうため、同世代向けのおすすめ本を紹介したブックリスト（「ぺら」「図書館員の太鼓ボン」等）を作成し、配布します。

エ 中学生・高校生向けの調べ方の手引きの配布

中学生・高校生向けに基本の調べ方について、手引き「Motteco!（もってこ）」を配布し、図書館の本を活用した調べ方のコツを伝えることにより、本に親しむきっかけを提供します。

オ DAISY子ども用録音図書の整備

視覚障がいを持った子どもたちに本に親しんでもらえるよう、録音図書を整備します。

カ 子ども向け外国語資料の整備

多数の外国人が居住している当区の特徴を踏まえ、外国語の児童書を充実させます。

キ 体験型おはなし会の開催

子どもたちが実際に体験することによって、本の内容を具体的なものとして実感し、本の世界をより深めるために、工作やあそびを中心とした体験型のおはなし会を開催します。

○令和5年度 体験型おたのしみ会実績

開催日	会場	参加者		内容
		子ども	大人	
5月14日	尾久図書館	27名	23名	青空おはなし会
6月11日	尾久図書館	24名	23名	紙芝居キャラバンがやってくる（2回実施）
7月 5日	南千住図書館	11名	9名	七夕おはなし会・荒川ふるさと文化館合同
7月 5日	日暮里図書館	16名	4名	七夕おはなし会
7月12日	町屋図書館	10名	3名	夏がきた！おはなし会
7月19日	南千住図書館	8名	6名	かがくをたのしむ おはなし会・工作会
7月21日	南千住図書館	13名	10名	こども認知症サポーター養成講座
7月29日	尾久図書館	8名	5名	こどもはじめて認知症教室
8月 2日	日暮里図書館	10名	1名	夏の工作会 小学生向け「鉛筆立てを作ろう」
8月 6日	尾久図書館	20名	14名	夏休み工作会 わゴムロケットをとぼそう（2回実施）
8月 8日	ゆいの森あらかわ	27名	35名	88（パチパチ）紙芝居デー
8月 9日	日暮里図書館	9名	7名	夏の工作会 幼児向け「紙コップロケットを飛ばそう」
8月12日	町屋図書館	4名	2名	工作会「からかさおばけをつくろう！」
8月16日	ゆいの森あらかわ	12名	0名	かねこまきさんとめんぼうズをつくろう！
8月16日	ゆいの森あらかわ	12名	0名	子ども司書による図書館ツアー
8月16日	南千住図書館	7名	7名	0～1歳のためのおはなし会スペシャル
8月16日	南千住図書館	23名	11名	夏休み工作会「くるくるしゃぼん玉をつくろう」
8月23日	ゆいの森あらかわ	57名	26名	こわーいおはなし会
8月27日	尾久図書館	21名	0名	尾久の寄席 こども落語
9月 2日	尾久図書館	200名		関東大震災100年防災イベント（尾久消防署・公園共催）
9月13日	町屋図書館	8名	2名	工作会「おばけとりをしよう」
9月29日	尾久図書館	15名	10名	親子サロン「なかよしタイム」（宮前花と緑の保育園共催）
10月18日	南千住図書館	3名	1名	ハロウィン工作会「びっくりがいこつをつくろう」
10月22日	尾久図書館	34名	40名	青空おはなし会
11月15日	南千住図書館	13名	10名	たのしもう！パネルシアターいろいろおはなし会
11月18日	ゆいの森あらかわ	17名	0名	忍者参上！～からくり屋敷の謎～
11月26日	尾久図書館	19名	16名	いしかわこうじせんせいとあそぼう
12月 6日	日暮里図書館	23名	15名	クリスマスのおはなし会
12月10日	尾久図書館	29名	29名	クリスマスのおはなし会（2回実施）
12月20日	南千住図書館	14名	9名	クリスマス会
12月23日	ゆいの森あらかわ	127名	113名	クリスマス会・クリスマス特別上映会
12月27日	町屋図書館	7名	5名	工作会「お正月かざりをつくろう！」
1月17日	南千住図書館	1名	1名	むかしあそびえかきうた
2月 4日	尾久図書館	22名	24名	3周年記念イベント 0～2歳のためのおはなし会
2月12日	尾久図書館	20名	19名	3周年記念イベント みんなのおはなし会
全館合計		871名	480名	

※令和5年9月2日のイベント参加者は子どもの合計人数に含めています。

ク 読書キャンペーンの実施

子どもたちの読書への興味喚起や図書館利用を促進するため、主体的に参加でき、読書の幅を広げるスタンプラリーの読書キャンペーンを開催します。

○令和5年度 読書ラリー参加者数（スタンプカード配付枚数）

開催日	令和5年7月21日から8月31日まで							
参加者数	ゆいの森	南千住	尾久	町屋	日暮里	汐入	冠新道	合計
	1,040	623	260	403	358	415	221	3,320

ケ 子ども向け読書会の実施

小学校中学年から高学年までを対象に、決められた本やテーマに沿って、ブックトークやワークショップを行うことにより、主体的な読書活動を促します。また、読書会リーダーやティーンズスタッフとして活動する参加者の育成に向けた、職員による支援について検討します。

コ 10代向けイベントの実施

10代利用者に対し、より図書館に親しんでもらうために、10代向けのイベントをティーンズスタッフとともに開催します。

○令和5年度ティーンズイベント

名称	開催日	内容	参加人数
イラスト上達講座 「躍動感のあるイラストを描いてみよう」	令和5年7月30日	文芸評論家榎本秋氏を講師に、イラスト上達のコツを教わるワークショップを開催した。	19名
POP 王来たる！POP づくりワークショップ	令和5年10月28日	児童・ティーンズ共同イベント。本屋大賞理事の内田剛氏を講師にPOP づくりのワークショップを開催した。	16名
小説紹介クリエイターけんごさんトークイベント&10代によるビブリオバトル	令和5年12月17日	TikTok や Youtube で小説を紹介するけんご氏を講師にトークイベントと中学生6名のビブリオバトルを同時開催した。	56名
町屋図書館 3館コラボ	令和6年2月15日	近隣の原保育園・原中学校・町屋図書館の3館が連携して交流を深める地域活性化イベント	31名

サ 柳田邦男絵本大賞の実施

荒川区子ども読書活動推進計画に基づき、ノンフィクション作家であり、絵本の重要性についても精力的に講演や執筆活動を行っている柳田邦男氏の賛同を得て創設した「柳田邦男絵本大賞」を実施しました。

募集作品は、子どもに対する読み聞かせ体験、人に伝えたい絵本の感想、自分が読んだ絵本の感動など、幅広い内容を柳田邦男氏に送る手紙形式として書いたものです。

○第16回柳田邦男絵本大賞

名称	第16回柳田邦男絵本大賞
趣旨	自分が読んだ絵本の感動、人に伝えたい感想、子どもに対する読み聞かせ体験など、幅広い内容を柳田氏に送る手紙形式で書いてもらうことにより、子どもから大人までの絵本の読書を普及発展させることを目的とする。
対象	子どもの部（中学生以下）400字～800字 一般の部 800字～1,200字

応募期間	令和5年7月1日から9月24日まで		
応募人数	子どもの部 1,897 人 一般の部 23 人		
表彰式	日時	令和6年1月28日 14時から14時35分まで	
	会場	ゆいの森あらかわ	
	内容	子どもの部 大賞1点、優秀賞3点、佳作5点、努力賞10点、参加賞 一般の部 大賞1点、優秀賞1点、佳作2点	

シ 中学生・高校生の読み聞かせ体験の実施

本離れの傾向が見られる中学生・高校生に、本の感動や喜びを、小さな子どもたちへの読み聞かせを通じて体験してもらう機会を提供します。

○令和5年度実績

実施施設	実施内容
ゆいの森あらかわ (ゆいの森ホール)	あらかわBOOKリーダー' Sによる読み聞かせを柳田邦男絵本大賞関連イベントとして実施した。

ス 子ども司書養成講座の実施

図書館の役割や司書の仕事を学び、体験することで、図書館や読書への興味関心を高める。一定の回数以上の参加者を「子ども司書」に認定し、その後、地域の中で読書文化を支える重要な人材へと養成する第一歩として、学校や地域で読書の楽しさや大切さを広めるイベントを行う。

○令和5年度 子ども司書養成講座実績

開催日	令和5年6月18日、7月16日、8月2日、8月9日、8月23日、9月3日、11月19日、12月2日の合計8日間
会場	ゆいの森あらかわ
受講者数	64名

セ 小・中学生の図書館における仕事体験の実施

小学生の仕事体験・施設見学や、中学生による勤労留学を通じて、図書館に対する理解を深めてもらう機会を提供します。

○令和5年度 勤労留学等実績

	ゆいの森	南千住	尾久	町屋	日暮里	合計
受入校数	8	6	6	5	3	28
参加者数	25	20	20	24	10	99

ソ 高校生の奉仕活動の受入

図書館の仕事を高校生に体験してもらうことにより、図書館に対する理解を深めてもらう機会を提供します。

○令和5年度受入実績 荒川工業高校：延べ11人

タ 生涯を通じて親しめる図書館づくり

荒川区立図書館では、「生涯を通じて本に親しむ環境を充実」させるため、前掲の一般向けサービス、ビジネス支援サービス、高齢者向けサービス、障がい者向けサービス、多文化サービスの実施に取り組んでいます。

チ オーダーメイドブックサービス

潜在的な利用者を獲得し、読書の推進につなげることを目的として、「漠然と読書をしたいと思っているもののどの本を読めばよいか分からない」という方を対象に、申込者が回答するアンケートをもとに好みにあった本を図書専門員が選書して、リストとして提供しています。

(5) 読書のまちづくりの推進

「読書活動を地域の活性化につなげるため、地域の担い手の育成と読書環境づくりを推進する」ことを施策の柱として掲げ、生涯にわたり、地域のあらゆる場において、読書に親しむことができる環境の整備を進めます。

○「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」を制定

これまでの読書活動に関する取組について更に発展及び充実をさせ、「読書を愛するまち・あらかわ」宣言の理念をより一層深めるとともに、区民等及び事業者の読書活動に関する取組を促進し、地域が一体となって、あらゆる世代の区民等が生涯にわたり豊かな心を育む読書のまちづくりを推進していくため、「荒川区豊かな心を育む読書のまちづくり条例」を制定しました。

ア 文字・活字文化の日と読書週間PR企画の開催

文字・活字文化についての関心と理解を深めるため、10月27日の「文字・活字文化の日」及び文字・活字文化の日から始まる読書週間にちなみ、全館で本や読書に関する特集コーナーを設置し、読書活動を推進します。

イ 俳句文化の裾野拡大

「荒川区俳句のまち宣言」を踏まえ、区民の俳句への関心を高めるために、子どもから大人まで俳句に親しめる、様々な取組を実施します。

○有馬文庫（ゆいの森あらかわ3階、現代俳句センターに設置）

原子核物理学の研究で優れた業績を残され、また、俳人としてもご活躍された有馬朗人氏（1930年—2020年）は、荒川区においては荒川区国際俳句振興会議委員及び荒川区国際交流協会理事長を務められました。ゆいの森にあらかわにはご自身の蔵書の一部をご寄贈いただき、平成31年3月には、開館2周年を記念して3階現代俳句センターに特集コーナー「有馬文庫」を開設しました。